



浜松志耀ロータリークラブ 第53回例会

開催日時:2025年4月10(木)午前 7:30 ~ 8:30
開催場所:オークラアクトシティホテル浜松 30階 パールの間

■ 会長挨拶 小川会長

皆さんおはようございます。本日は3月30日(日)に開催された「IM」についてお話させていただきます。まず、IMとは「Intercity Meeting(インターシティ・ミーティング)」の略で、複数のロータリークラブが一堂に会し、親睦を深め、情報を共有し、学び合う場です。まさに、ロータリーのボーダレス化への第一歩ともいえる、貴重な機会です。しかしながら、今回のIMへの当クラブからの出席者は9名と、やや寂しい結果となってしまいました。特に、浜松東ロータリークラブの事業計画書には「入会后3年未満の会員はIM出席を義務とする」と明記されており、これは新会員にロータリーの広がりや異なる価値観に触れる機会を積極的に持ってほしいという趣旨だと思われます。今後は当クラブでも、こうした意識づけが必要かもしれません。

IM当日は、第2620地区12クラブの会長・幹事が、「国際ロータリー第2760地区 東三河分区との交流」をテーマに、訪問例会の報告を各クラブ4分間で発表するプログラムも実施されました。当クラブは豊川ロータリークラブを訪問させていただいておりましたので、その際の様子を写真を交えてIM会場で発表し、参加された皆さんにも関心を持っていただけたのではないかと思います。

その発表の中で、私が特に印象に残ったこととして紹介したのが、「黙想(もくそう)」という取り組みでした。豊川RCでは、例会の冒頭に黙想の時間を設けており、これは単に静かに目を閉じるだけでなく、自分自身と向き合い、心を整えることで、例会に対する集中力や感謝の気持ちを高める時間とされています。私はこの取り組みに大変感銘を受け、まるで心が洗われたような気持ちになり、自分自身がなぜロータリーにいるのかという初心を思い出す機会にもなりました。

例会とは「道場」である。日本にロータリークラブを創設した米山梅吉氏は、「ロータリーの例会は人生の道場である」と述べられました。自分を律し、高め合う場であるならば、こうした黙想の時間を私たちのクラブでも取り入れてみる価値があるのではないかと、改めて感じています。

また、IM当日には、豊川RCの田中会長、安田幹事のお二人が、わざわざIM会場まで足を運んでくださいました。第2760地区 東三河分区のすべての会長・幹事がIM当日会場に来られたわけではない中で、実際にご出席いただけたことに、改めて深い敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。さらに嬉しいことに、田中会長はIM当日のご挨拶の中で、以前当クラブの例会にお越しくださった際のことを、心温まる言葉で振り返ってくださいました。新設クラブなのにお越しいただけたこと、そしてその訪問を覚えていてくださったことに、心より感謝申し上げます。こうした繋がりやの積み重ねこそ、ロータリーの本質そのものだと、改めて感じました。

そのお礼として、4月2日(水)に田中幹事と衛藤会長エレクト、そして私の三人で豊川RCを訪問し、直接感謝の気持ちをお伝えしてまいりました。こうした交流が、クラブ間の信頼と学びを深めてくれるものと確信しています。

今日の例会もまた、自分自身を見つめ直す「道場」のような場です。ともに学び、感じ、行動することで、私たちのロータリー活動がより豊かで、意味のあるものになることを願っています。

本日も宜しくお願い致します。

■ お誕生日お祝い(4月) 小川会員 久米会員 田淵会員

・おめでとうございます。

■ 幹事報告 田淵幹事

1. ミャンマー大地震への募金をお願いします。
2. 本日の例会終了後に、役員理事会と次年度予定者会議を開催します。

■ 議事 次年度クラブ協議会

・衛藤会長エレクトの進行で、次年度の組織図案と例会内容について、会員からの意見等を聞きました。

■ 委員会報告

・青少年交換プログラムについて 小澤委員長

4月5日(土)静岡商工会議所にて、募集説明会を行いました。次年度は2名を予定していて、5クラブから参加いただきました。

・募金活動について 小澤委員長

4月19日(土)10時30分~13時30分まで JR浜松駅北口にて募金活動を行います。皆様ご参加をお願いします。

■スマイル

- ①種村会員一弊社(JAとピア浜松)が30周年となりました
- ①衛藤会員一クラブ協議会への御礼、田中会員の司会への御礼



※出席率:58% (会場16名+BAND 2名=18名/31名)

